

学校法人滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校
2026年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者（書記）：安中 松太郎

日時 2026年5月21日（木）10：00～12：00

会場 東京ベルエポック美容専門学校
東京都江戸川区西葛西6-24-16 TEL03-5659-9090

出席者 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属	役職
学校関係者	卯月 睦彦	敬愛学園高等学校	学校長
業界関係者	関 久美	ピアス株式会社	アテンダントスタッフ人事部 部長
保護者代表	新田 あかり	ヘアメイク科2年生保護者	学生 保護者（母）
地域関係者	空田 真之 （欠席）	江戸川区葛西・西葛西メト ロセンター会	代表取締役
卒業生代表	福島 賢太	Playce 株式会社	代表取締役

【学園・学校関係者】

古島 暉大 学校法人滋慶学園 常務理事
川戸 功一 東京ベルエポック美容専門学校 学校長
三井 真以子 東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長
中村 聖之 東京ベルエポック美容専門学校 事務局長
阿部 健 東京ベルエポック美容専門学校 教務部長
岩本 理絵 東京ベルエポック美容専門学校 美容師学科長
安中 松太郎 東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科学科長
石渡 尚子 東京ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科学科長
石崎 京花 東京ベルエポック美容専門学校 広報センター長
関口 幸江 東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター長代理
中嶋 義彦 東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター（キャリア）
城本 光枝 東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター（キャリア）

議題 <会議の概要> (進行：阿部)

1. 開式の挨拶
2. 滋慶学園ベルエポック美容グループについて
3. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介
4. 本委員会の趣旨説明
5. 2025年度の自己評価項目と評価内容の説明

6. 2025年度学事報告
7. 2025年度自己評価内容報告 抜粋
8. 質疑応答・意見交換
9. 講評
10. 開式の挨拶

議事

1、開会の挨拶（川戸学校長）

本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。

アニメーション監督富野由悠季さんの機動戦士ガンダムから印象に残る言葉についてお話させていただきます。「プロトタイプ」それまでのアニメは唯一無二のヒーローが主体だったが、ガンダムでは「プロトタイプ（試作機、量産型）」が出てきた。業界に求められているのは「質の高い学生、プロを安定して供給する」その期待に応えるのが本校の義務だと感じている。教育機関として最高品質の量産型を提供、育成していく。しかし量産型の育成は学生たちの無限の可能性をつぶす可能性もある。マニュアル化されたものだけでは個性は伸ばせない。本校が真に美容学校のリーダーを育成できているのかご意見をいただければと思います。限られた時間の中で実りある議論ができるよう宜しくお願いいたします。

2、滋慶学園ベルエポック美容グループについて（中村）

職業人教育を通じて社会に貢献するミッション。500職種を要請している中の一つ。

2009年開講、ベルエポックが付く学校は昨年度横浜校が開講して5校になった。

普通美容師ではなく、業界の即戦力を育成していく。現在卒業生がどんどん活躍している。学園ブランディング戦略。“出会いと経験”業界と一緒に、プロフェッショナルで高品質な学生を養成していく。東京ベルエポックがある西葛西は落ち着いて学びたい。地方から上京してくる学生が多い。忌憚なきご意見を頂き学校教育に活かしていきたい。

3. 評価委員会のご紹介並びに学校側出席者の紹介

卯月 睦彦様、敬愛学園高等学校の学校長。

関 久美様、ピアス株式会社のアテンダントスタッフ人事部部長。

新田 あかり様、ヘアメイク科2年生 保護者代表

福島 賢太様、playce株式会社 卒業生代表

職員自己紹介

川戸学校長、中村、阿部、石崎、関口、中岫、城本、石渡、安中、岩本

4、本委員会の趣旨説明（阿部）

【目的】

- ・高等教育における職業実践的な教育に特化した新たな枠組みづくりとして創設。
- ・専門学校における実践的な職業教育の質保証・向上

- ・実質的かつ継続的に、企業・関係施設・関連団体等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を修得できる実践的な職業教育に取り組む学科であることを文部科学大臣が証するもの。

各学校が自らの教育活動等の成果や取組を不断に検証することにより、

- (1) 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。
- (2) 学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること。
- (3) 設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、教育水準の保証・向上を図ること。

5、2025年度の自己評価項目と評価内容の説明（事務局長 中村）

評価の実施方法

- (1) 各学校の教職員が行う評価 【自己評価】
- (2) 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価【学校関係者評価】
- (3) 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価 【第三評価】

●評価10項目

教育理念・目的・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援
教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献

●評価をいただいた結果、職業実践専門課程の承認

文部科学省告示第133号平成25年8月30日

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定

6、2025年度自己評価内容報告 抜粋

(1) 教育理念・目的・育成人材像 (中村)

建学の理念と4つの信頼を掲げている。

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー

マネジメント体制の整備。教育理念の実現の為に事業計画を掲げ、組織体制を整え運営をしている。役職・役割を設定し業務に関わっている。

学園全体の会議から学校の中の会議など責任を持って取り組んでいる

(2) 学校課程 (阿部)

各学科で養成目的を設定。養成目的は、卒後の姿、教育目標は卒業時の姿。

夢の実現の為には日々の授業が大切。講師はシラバス、コマシラバスを作成。

教育目標を達成する為の授業内容を組み立てて頂いている。

教育課程編成委員会。各学科で実施していく（5月、10月で年2回実施）

（留学生に関して）

全国的に留学生が年々増えている。今年度は17名の留学生が学んでいる。現状、ビザは美容師の特定活動で最大5年間のみ。業界としても改善の見込みあり。

（教育全般）

シラバスは学生の成長の過程が見えるように設定、作成をいただいている。

現場実習、TOPゼミと学内だけで学生の学びを止めないような工夫を各学科で取り組んでいる。学生便覧は、評価の部分など学生が確認できるようにデータ化している。国家試験不合格者、退学者などの実績を考慮し改善はしていく。

WEB上で学生の情報が確認できる<教務システム>、卒業生の卒業後の就職先が残せる<就職システム>を導入し、すぐに情報が見れる状況にある。

（3）学生の受け入れ・学生支援（石崎・関口）

入学者の受け入れ方針は、アドミッションポリシーに基づき方針を決めている。詳細に関しては、本校HP、募集要項で周知。

広報システムでは、入学定員にもとづき適正な管理を行っている。適正な学生数の確保を目指しているが、定員充足に足りていない状況が続いている。

多様な学生の就学支援。適正な対応ができるように多角的な支援が出来る環境を整えている。社会人の受け入れにも積極的で、学生個々に合わせた対応ができることが本校の強み。

海外からの留学生に関しては適切な在籍管理、就職支援を行っている。日本語能力や文化の違いで課題が発生しているケースもあり、よりきめ細かい支援に繋げていきたい。

経済的側面では、公的な奨学金や学費分納など個別的な対応、サポートを行っている。高等教育の新制度、多子世帯の所得条件が撤廃、より多くの学生が支援を受けられる状態になった。カウンセラーの配置により、学生が安心して学べる環境を整える。カウンセラーと担任が連携し、組織的に学生に対応できる環境設定ができています。

留年者、退学希望者に対し適切な対応を行っている。学生の多様化に伴い、発生する問題も多様化。クラス担任の負担が増えてきている。

慶生会クリニックでは、学生の身心の健康を整えている。健康診断1次検査100%。2次検査97%と受診率は向上。まだ改善していく必要あり。

学生の希望職種や受験希望先を管理するシートを活用し、明確な就職支援を実施。

キャリアサポートアンケートを活用し、精神面や学習の充実度を把握し、個々に合わせた対応を実施している。

正規の授業外の活動では、サークル活動、学生スタッフ、地域清掃、現場実習、江戸川SDGsフェス、江東こどもまつり、児童館からの依頼。積極的に参加することで主体的に行動できる学生育成につながる。

(4) 教員実施組織 (中村)

教員要件に基づいた採用活動を実施。組織編制は適正な業務分担を整備している。

最新の美容を学ぶ。それに合わせて講師を選定している。まだまだ改善の必要はあり。

FD研修の実施で教員の資質の向上。授業アンケートを学生から回収し、学生からの意見を講師にフィードバック、よりよい授業運営ができるような支援を行っている。

TOPゼミでは、学生に近い業界の方を呼ぶことで卒後のイメージが沸くようなスタイルに変更、目指す姿がより明確に。

教職員には、様々な研修を経て教員の質向上に取り組んでいる。常に全員が国家試験を合格し、就職していくことを目指していく。

(5) 整備点検・改善案 (阿部・中岫)

基準に合った教室の配備。基準を満たしている中でも授業外で学生が安らげる空間課題。

防災マニュアル・危機管理マニュアルを毎年整備 (訓練は年2回実施)

実習中を想定した対応訓練を実施。教員向け講習も実施。安全意識の向上に努める。

昨年の意見を受けて、4月の導入期間に避難訓練を実施。磐越道の事故を受けて、バス利用の場合の確認事項含めて速やかに対応している。

(6) 中期事業計画と財務基盤 (中村)

毎年事業計画を設置している。5ヵ年先をイメージした目標を設定。

収支予算書も5年先の収支予算を作成。財務諸表をHPで公開している。募集定員に即したものがベースの為、定員充足できるように募集活動を進めていく。

学校運営。部署間の情報共有のスピード感到課題。FD活動 (前述)

外部からの意見を反映させる。改善成果を公開している。情報を積極的に公表し、社会全体からの理解を得られるようにしている (情報公開)

7、質疑応答・意見交換

◇卯月学校長

一生懸命取り組んでいられる。体制が整えられていると感じた。

定員不足は避けて通れない問題もある。

なりふり構わず学生募集をすると質の高い教育を提供することができない (温度差の点)

本校では大学進学率が向上した。理由を考えた際に、入学した層がよくなったと感じている。

学校として何か共通で目指していけるキーワード・《共通認識》を持つとよい。

◇福島様

情報を共有することが課題になっている。目的意識の低い学生が入学した場合の底上げは可能か？

サロンに就職してもギャップが発生してしまっていて早期退職に繋がってしまう。そのような学生の意識が上がった、楽しく過ごせたから頑張れたなど底上げをして頂きたい。

東京ベルエポックだからこそできている事。学生サロンの中で教員が少ないと目が行き届かない。卒業生と連携して複数の方に来てもらうなどだと現場のシャンプーを学べるのが学生のメリット。業界としても今の学生と触れ合える機会になるのもメリットになるので双方良いと思う。

(美容師科)

目的意識の改善に関して。将来についての考えがあいまいな学生の職業観を持たせる為に、入学後早期に就職フェアに参加したり、TOP セミで近い卒業生を見せることも取り組んでいる。

(T B科)

E L Cのメイクモデルとして体験を実施。モチベーションを上げる良いきっかけになった。

(キャリア)

以前は美容以外の職に移る学生も多かったが、近年は自分の資格を活かした進路選択をする(美容関連職)学生が増えた印象がある。

◇関様

GAPにより退職が多かった。その為、内定が決まったあとに内定者とコンタクトを増やす取り組みを行った。その結果、今年は早期退職状況が改善した。

ベルエポック様は学生フォローが手厚いイメージ。弊社も社員のフォローは手厚くしている。

《質問》

①アンケートで悩みがあると回答した場合にすぐ対応できるのか？

(阿部) 統計的に見て行かなくてはいけない部分もあるが、すぐに対応できる体制は整えている。

(関様) 企業でもアンケートは実施したいが、人員が必要で中々実施出来ない。

②評価の公平性に関しては？

(阿部) ルーブリック評価で明確な評価基準が学生に伝えられている。

(岩本) 美容師科は指名者補習を行っている。国家試験に近づく中で点数が不足している学生を補習している。「指名者」ではなく、「東ベル塾」という名称で参加しやすい仕組み作りをしている。

◇新田様

1年間お世話になって資格の取得できた。

現場実習も本人が頑張っている様子を家族で見に行けてよかった。

《質問》

①クラス編成に関して。なぜ2クラス編成になったのか。

(安中) 現場実習者や退学者を除いた在籍数で考えた時、2クラス編成が良いと判断した。

②年間スケジュールを出すのが遅い。

(安中) 前期のスケジュールは既にお渡ししている。後期に関して、後々の変更がクレームになる可能性もあり、確定後の連絡になってしまっている状況。

③講師の質の統一。色々な先生に教えてもらいたい。

(安中) 講師の質の部分では、同じ授業は同じレベルの指導が全クラス受けられるように意識している。ただし、複数の講師に教わるという視点は持っていなかったので参考にさせて頂く。

④国家資格の落ちてしまった学生の特徴

(岩本) 実技は衛生で落ちてしまった。普段やらないミスが出てしまった。
筆記については、学校授業で欠席しがちの学生をいかに参加させるかが課題。

(川戸学校長) 年間スケジュールは仮のものでも必要か？

(新田様) 学校単位の予定は確定。移動する可能性があるのはその旨を伝えて貰えば。

◇卯月様

中学校の調査書に関して出席の項目は削除された。そのような環境下で学んだ学生が専門学校で「出席しなさい」と言われても難しい学生はいると思う。寄り添ってもらったという事の積み重ねが大切。(本校でも問題学生も入学した後に判明して対応することが発生している)

【確認事項】

(中岫) 自己点検評価シートをメールにて委員の皆様へ送付。評価を付けて返信を頂きたい。
期日は5月31日までにデータにて返信をお願いします。

8、閉会挨拶 (川戸学校長)

本日は、ありがとうございました。

活発なご意見ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

—以上—